

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://info.pref.fukui.lg.jp/danken/danjo/f-net/f-net1.html>

「一歩外へ踏み出し、新たな発見！」

今回は、スピノフの会（富山）との交流会、J-Win（首都圏）との交流・講演会、APEC女性リーダーズネットワーク（世界）への参加を通して得られた気づきを中心にお届けします。
県外で活躍する女性たちの意見・価値観に触れて新たな発見をしませんか。

日時：平成22年9月18日（土）14:30～16:00

場所：富山県民共生センター「サンフォルテ」3階 大会議室

働く女性のネットワーク

「ビジネスリーダー スピノフの会」との交流会

「交流の深化」を今期のテーマに掲げている交流部会の企画により、「スピノフの会」（富山県）との交流会を行いました。

交流会テーマ

1. 仕事について

2. 活動の意義とその活かし方

3. 女性としての（仕事だけでない）生き方

交流会は、グループに分かれ、テーマに沿って意見交換するスタイルで実施しました。共働き率など働く女性の環境が似ていることもあり、意見1つ1つに共感しながら、どのグループも活発な意見交換となりました。「スピノフの会」では、同じ企業からも複数名参加可能であることから、自社の後輩も同時に他社のロールモデルと交流ができることで効率的なネットワークづくりが可能となっているようでした。

今回の交流会を通して、ふくい女性ネットの活動は会社をPRする機会であると同時に、他社・業種のことを知り、仕事に客観的な視点を持つことができるようになることと改めて確認することができました。

（担当 増永貴）



スピノフの会

【目標】

- ① 県内の働く女性たちの情報交換
- ② 働く女性のロールモデルに出会う
- ③ リーダーとして、視野を広げるための勉強

【活動】月1回程度、自由参加

【事務局】財団法人富山県女性財団

ふくい女性ネット（第3期）参加企業：ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

㈱アイティー広告

㈱アイル

司法書士法人 i s t

㈱ウララコミュニケーションズ

㈱エイチアンドエフ

参加レポート

日時：平成22年9月19日(日)～21日(火)
場所：京王プラザホテル（東京・新宿）

APEC 女性リーダーズネットワーク(WLN)会合

日本がAPEC議長国となった今年、APECに参加する21の国と地域の女性リーダーからなるネットワーク会合が開かれました。菅直人首相が開会の挨拶をし、ヒラリー・クリントン米国国務長官から閉会にあたりビデオメッセージが届くという注目度の高い会合でした。2011年には国連の女性に関する4つの機関が統合され、UNWOMEN(男女平等と女性の社会的地位強化のための国連機関)が設立されるなど、今、女性の活躍・女性が経済に与える効果が世界的に重要視されています。3日間の会合を通し、様々なスピーカーの方々から共通して発信された内容は、「ネットワークの重要性、ダイバーシティ、チャレンジ精神、自信を持つこと、ワークライフバランス」でした。

各国のリーダーが発信する「ネットワークの重要性」には、福井でネットワークを築き活動する「ふくい女性ネット」メンバーとして勇気づけられました。また、「女性が自信を持つこと、若い女性が頑張らなければいけない、得たものは続く人へ引き継いでいきましょう！」という諸先輩方からのメッセージは、使命を持って活動するための「助言」だと感じました。様々な国の人と触れ合いましたが、皆同じ悩みを抱えながらも力強く前を向き歩いている姿に、勇気と元気をいただきました。まずは、福井の元気に一役担っていきたく強く感じた3日間でした。(担当 笠松)



日時：平成22年11月20日(日)13:00～16:30
場所：福井県立大学 講堂

J-Win・ふくい女性ネット連携フォーラム2010

～一歩前に進む働き方～

主催：福井県、共催：NPO法人J-Win、企画運営：ふくい女性ネット

1. 講演「シニア・リーダーへの道」

NPO法人 J-Win 副理事長 佐々木順子 さん (株式会社WEIC エグゼクティブ・アドバイザー)



佐々木さんご自身が経験した仕事の転機をもとに、「シニア・リーダーへの道」と題して講演していただきました。

中でも最も印象的だったのは、佐々木さんがIBMアジア・パシフィックに勤務していた頃に女性エグゼクティブたちから投げかけられたという「What is your GOAL? (あなたにとってのゴールは何ですか?)」という言葉です。

「当時の私は、いつも自分と他人を比較して勝ち負けにこだわり、希望する役職に就くことが自分にとっての『GOAL』だと思っていました。でも、この質問を繰り返し投げかけられるうちに、自分にとっての働く目的・意義を『GOAL』と呼ぶのだと気がつきました。」と話す佐々木さん。

「大事なのは、自分に対して『私は今日もベストを尽くしたぞ!』と言えるかどうかです。自分の能力を最大限に発揮してあげなければ、自分に失礼でしょう?」という力強い言葉を聴き、これからの仕事への活力とステップアップのヒントを得ることができたと感じました。(担当 杉本)

株オムキャスト
株ジャムジャム

株キタジマ
株シャルマン

株黒川クリーニング社
株SHINDO

サカイオーベックス株
セーレン株

坂井市
第一警備保障株

2. トークショー

●コーディネーター

佐々木順子 さん

●出演者

NPO法人 J-Win 幹事

浅羽麻衣子 さん (KDDI(株) 人事部 ダイバーシティ推進室 課長補佐)

小菅 美佳 さん (東京電力(株) 営業部 業務革新プロジェクト 総括グループ 課長)

高田 啓子 さん (みずほ証券(株) 人事部 ダイバーシティ推進室長)



佐々木さんの講演に続き、J-Win幹事としてご活躍中の3名に加わっていただきトークショーを開催しました。

皆さんからは、管理職に任命されたときに感じた戸惑いや不安、実際に部下を持つ立場となって苦勞したエピソードなど、様々なお話をうかがうことができました。

業種も職務経歴もそれぞれ異なる皆さんでしたが、共通していたのは、与えられたチャンスは決して逃さず、直面した困難に対して全力でぶつかり自分の成長につなげてくれたということ。

トークショーの最後では、「ネットワーク作り」がキーワードになりました。それぞれご自身の経験談を交えながら、①孤独感からの脱却、②ロールモデルとの出会い、③固定観念の打破・新たな価値観の創造といった点をネットワーク作りの重要な効果として挙げ、「1つ1つの出会いやきっかけを大切にしてください。」と会場に集まった参加者全員にアドバイスをいただきました。(担当 杉本)

3. 交流会



参加者の質問にJ-Winメンバーの皆さんが答えるという形で交流会を行いました。

「J-Winメンバーにとっての『働く意味』とは?」という質問には、「社会や世の中の人に何か貢献したい」、「自分の生きてきた証を残したい」、「周りの人の笑顔が見たい」といった答えがありました。そのほか、「女性の人材育成・モチベーションの上げ方」、「忙しい中での勉強時間の作り方・勉強の仕方」等の質問に、貴重なアドバイスや答えをいただくことができました。(担当 本島)

4. インタビュー

Q 多種多様な人達と円滑に仕事を進めるコツは?

A …まずは人に興味を持ち、他人を受け入れ、理解することです。

そして、自分からコミュニケーションを取るように心掛けることが大切です。

Q 管理職になって(部下を持って)感じた女性の強み・弱みは?

A …女性は、スピード感・決断力がある方が多いといます。男性は女性の部下を叱ることが苦手ですが、女性は男女問わず部下を叱ることが上手だと思います。しかし、強み・弱みはあくまで個人差があり、男女差だけではないと思います。



Q ふくい女性ネットへのエールをお願いします。

A …立体的で奥深いネットワーク作りをして下さい。活動は大変かもしれませんが、自分のためになることばかりです。J-Winとふくい女性ネットが共に頑張り、日本を元気にさせましょう。

(担当 本島)

新田塚コミュニティ(株)

日本システムバンク(株)

福井貨物自動車(株)

福井キャノン事務機(株)

福井県商工会連合会

福井県赤十字血液センター

福井県

財福井県文化振興事業団

福井県民生活協同組合

学校法人福井仁愛学園

でちゃった女性インタビュー 連載第3回

「でよっさ」を年度テーマに活動する情報発信部会メンバーが、県内で活躍なさっている「でちゃった女性」にインタビューを実施！連載第3回目となる今回は、裁判官を経て現在は弁護士としてご活躍中の吉川奈奈さんにお話を伺いました。

▶杉原・きっかわ法律事務所 弁護士 ^{きっかわ なな} 吉川 奈奈 さん

人生のターニングポイントとは？

①裁判官になって5年目に第1子を出産……28歳

24歳で裁判官になり、東京や北海道に赴任して充実した日々を送っていました。裁判官になって3年目で結婚、5年目で第1子を出産しましたが、やはりママになると働き方も生活も一変！

同じクオリティの仕事を要求されますが、遅くまで残業はできません。それまでのように「とことん時間をかけて納得いくまでこだわりぬく」というやり方はできなくなりました。ですが、限られた時間でやり遂げるために、「今何をしなければならないか」を常に考えるようになり、仕事の段取りや取捨選択はおのずと上手くなったように思います。

とはいえ、子どもが突然病気になったときなどはやはり大変。シッターサービスや病児保育などをフル活用しましたが、毎日を乗り越えていくことで精一杯でした。

子どもに申し訳ないという思いから、もう仕事をやめようかと考えたこともありました。でも、物心ついた子どもが「今日のママかっこいい」とスーツ姿を褒めてくれるように！「かっこいいママ」でいることが、たくさん我慢してくれている子どもへの恩返しだと思っています。

②弁護士に転身して福井へ帰郷……35歳



32歳で2人目を出産。2人の子どもの抱えて転勤、引越しも何とか乗り越えてきました。

しかし、数年おきの転勤生活はやはり厳しく、第1子の小学校入学を機に退官して郷里福井で弁護士登録。時間管理が自己責任で自由になり、職住接近ですべてに余裕が生まれ、子どもと向き合う時間も持てるようになりました。

弁護士稼業もようやく軌道に乗ってきたというときに3人目を高齢出産するという想定外のハプニングもありましたが、3人のママになって、ますますたくましくパワーアップして頑張っています。

家庭と仕事の両立のコツは？

すべてを完璧にこなすことなどできないのですから、どこかで上手に手抜きをすべきだと思います。私など、家では家族から「適当なんだからあ」とダメ出しの連続です。一人でも何かも抱え込もうとしないで、頼れるものは頼ればいいのです。ニコニコ元気でいるのが一番！

一言アドバイス

何事も継続することが大切だと思います。私は育児休業で1年間ほど仕事をお休みしましたが、復帰してから勤を取り戻すまでに随分時間がかかりました。家庭生活の状況に応じて仕事の割合を太くしたり細くしたり、形を変えたりしてもいいので、仕事を長く続けていってほしいと思います。

女性だから損すること、大変なこともあるのが現実ですが、女性だから得することもたくさんあります。あまり考えすぎないで突き進め！女は度胸！色々な人があなたを支えてくれています。

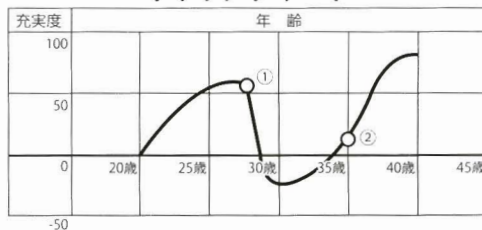
そして最後に…仕事を頑張った後に飲むビールはやっぱり最高！ですよ。(担当 杉本)

編集後記

「色々な人が支えてくれるよ」と笑顔の吉川さん。両立の時間・環境は自分で整える、という高い意識とともに、周りの人とのつながりを大切にされていて、励まされました(見習うぞ)。素敵な機会をいただいて感謝です。(藤田)

生き生きと輝く女性たちに出会い、多くの刺激を受けました。私自身も、J-Win・ふくい女性ネット連携フォーラムのテーマのように「一歩前に進む働き方」ができるよう、仕事の中で日々精進していきたいと思っています。(杉本)

キャリアチャート



国立大学法人福井大学
株PLANT

福井経編興業株
北陸電力株福井支店

福井トヨペット株
松文産業株

福井鋸螺株
(33社、50音順)

フクビ化学工業株